

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科目区分	専門分野	授業の方法	演習
科目名	総合演習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対象学年	3年生		学期及び曜時限	前期 月1・2限・水4限	教室名	2校舎503教室
担当教員	寶田潤・和歌秀典 鈴木次郎 他	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1年次・2年次までの授業をもとに、課題演習・授業を通し、はり師・きゅう師としての知識の構築ならびに、総合力を身につけていく。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
各科目の教科書・授業資料プリント						
《授業外における学習方法》						
各科目の基本となる知識(重要キーワード・単語)の確認・構築は課題・自習で行い、授業は理解を深めるためのツールとして受講すること						
《履修に当たっての留意点》						
国家資格(免許)の意味をしっかりと思い出し、十分な知識をもった医療人となることを目指してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式 授業を通じての到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。		教科書・プリント	臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと	
	各コマにおける授業予定	解剖学・生理学 の復習				
第2回	講義 演習形式 授業を通じての到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。		教科書・プリント	臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと	
	各コマにおける授業予定	解剖学・生理学 の復習				
第3回	講義 演習形式 授業を通じての到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。		教科書・プリント	臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと	
	各コマにおける授業予定	解剖学・生理学 の復習				
第4回	講義 演習形式 授業を通じての到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。		教科書・プリント	臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと	
	各コマにおける授業予定	解剖学・生理学 の復習				
第5回	講義 演習形式 授業を通じての到達目標	知識の精度をあげ、正しい知識を使えるようになる		教科書・第1回卒業試験問題	卒業試験の自己採点、問題の見直しをしておくこと	
	各コマにおける授業予定	第1回卒業試験の復習				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	知識の精度をあげ、正しい知識を使えるようになる		教科書・第1回卒業試験問題	卒業試験の自己採点、問題の見直しをしておくこと
	各コマにおける授業予定	第1回卒業試験の復習			
第7回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	知識の精度をあげ、正しい知識を使えるようになる		教科書・GW課題	GW中に課題をしておく
	各コマにおける授業予定	解剖学・生理学 の復習			
第8回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	知識の精度をあげ、正しい知識を使えるようになる		教科書・GW課題	GW中に課題をしておく
	各コマにおける授業予定	解剖学・生理学 の復習			
第9回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。		教科書・プリント	臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	解剖学・生理学 の復習			
第10回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。		教科書・プリント	臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	解剖学・生理学 の復習			
第11回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	東洋医学の重要な内容を理解し説明できる。		教科書・プリント	東洋医学概論の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	解剖学・生理学 の復習			
第12回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	東洋医学の重要な内容を理解し説明できる。		教科書・プリント	東洋医学概論の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	解剖学・生理学 の復習			
第13回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	基礎医学の重要な内容を理解し説明できる。		教科書・プリント	解剖学・生理学の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	解剖学・生理学 の復習			
第14回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	基礎医学の重要な内容を理解し説明できる。		教科書・プリント	解剖学・生理学の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	解剖学・生理学 の復習			
第15回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	基礎医学の重要な内容を理解し説明できる。		教科書・プリント	解剖学・生理学の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	解剖学・生理学 の復習			

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	総合演習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	前期 月1・2限・水4限	教室名	2校舎503教室
担 当 教 員	寶田潤・和歌秀典 鈴木次郎 他	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1年次・2年次までの授業をもとに、課題演習・授業を通し、はり師・きゅう師としての知識の構築ならびに、総合力を身につけていく。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
各科目の教科書・授業資料プリント						
《授業外における学習方法》						
各科目の基本となる知識(重要キーワード・単語)の確認・構築は課題・自習で行い、授業は理解を深めるためのツールとして受講すること						
《履修に当たっての留意点》						
各科目の基本となる知識(重要キーワード・単語)の確認・構築は課題・自習で行い、授業は理解を深めるためのツールとして受講すること						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義 授業を 通じての 到達目標	基礎医学の重要な内容を理解し説明できる。		教科書・プリント	解剖学・生理学の教科 書を熟読しておくこと	
	各コマに おける 授業予定	解剖学・生理学 の復習				
第17回	講義 授業を 通じての 到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。		教科書・プリント	臨床医学各論の教科書 を熟読しておくこと	
	各コマに おける 授業予定	解剖学・生理学 の復習				
第18回	講義 授業を 通じての 到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。		教科書・プリント	臨床医学各論の教科書 を熟読しておくこと	
	各コマに おける 授業予定	解剖学・生理学 の復習				
第19回	講義 授業を 通じての 到達目標	基礎医学の重要な内容を理解し説明できる。		教科書・プリント	解剖学・生理学の教科 書を熟読しておくこと	
	各コマに おける 授業予定	解剖学・生理学 の復習				
第20回	講義 授業を 通じての 到達目標	基礎医学の重要な内容を理解し説明できる。		教科書・プリント	解剖学・生理学の教科 書を熟読しておくこと	
	各コマに おける 授業予定	解剖学・生理学 の復習				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	基礎医学の重要な内容を理解し説明できる。	教科書・プリント	解剖学・生理学の教科書を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	解剖学・生理学 の復習		
第22回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	基礎医学の重要な内容を理解し説明できる。	教科書・プリント	解剖学・生理学の教科書を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	解剖学・生理学 の復習		
第23回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。	教科書・プリント	臨床医学総論の教科書を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	解剖学・生理学 の復習		
第24回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。	教科書・プリント	臨床医学総論の教科書を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	解剖学・生理学 の復習		
第25回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	前期授業内容を理解し説明できる	教科書・プリント	前半の配布資料、卒業試験の見直し
		各コマにおける授業予定	解剖学・生理学 の復習		
第26回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	前期授業内容を理解し説明できる	教科書・プリント	前半の配布資料、卒業試験の見直し
		各コマにおける授業予定	解剖学・生理学 の復習		
第27回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。	教科書・プリント	臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	解剖学・生理学 の復習		
第28回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。	教科書・プリント	臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	解剖学・生理学 の復習		
第29回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	前期授業内容を理解し説明できる	教科書・プリント	前半の配布資料、卒業試験の見直し
		各コマにおける授業予定	まとめ		
第30回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	前期授業内容を理解し説明できる	教科書・プリント	前半の配布資料、卒業試験の見直し
		各コマにおける授業予定	まとめ		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	総合演習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	前期 月1・2限・水4限	教室名	2校舎503教室
担 当 教 員	寶田潤・和歌秀典 鈴木次郎 他	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1年次・2年次までの授業をもとに、課題演習・授業を通し、はり師・きゅう師としての知識の構築ならびに、総合力を身につけていく。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
各科目の教科書・授業資料プリント						
《授業外における学習方法》						
各科目の基本となる知識(重要キーワード・単語)の確認・構築は課題・自習で行い、授業は理解を深めるためのツールとして受講すること						
《履修に当たっての留意点》						
各科目の基本となる知識(重要キーワード・単語)の確認・構築は課題・自習で行い、授業は理解を深めるためのツールとして受講すること						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第31回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。	教科書・プリント	臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	臨床医学各論 の復習			
第32回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。	教科書・プリント	臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	臨床医学各論 の復習			
第33回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。	教科書・プリント	臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	臨床医学各論 の復習			
第34回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。	教科書・プリント	臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	臨床医学各論 の復習			
第35回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。	教科書・プリント	臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	臨床医学各論 の復習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。		教科書・プリント	臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	臨床医学各論 の復習			
第37回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。		教科書・プリント	臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	臨床医学各論 の復習			
第38回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。		教科書・プリント	臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	臨床医学各論 の復習			
第39回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。		教科書・プリント	臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	臨床医学各論 の復習			
第40回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。		教科書・プリント	臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	臨床医学各論 の復習			
第41回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。		教科書・プリント	臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	臨床医学各論 の復習			
第42回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。		教科書・プリント	臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	臨床医学各論 の復習			
第43回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。		教科書・プリント	臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	臨床医学各論 の復習			
第44回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	本授業の疾病を理解し説明できる。		教科書・プリント	臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	臨床医学各論 の復習			
第45回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	前期授業内容を理解し説明できる		教科書・プリント	前半の配布資料、卒業試験の見直し
	各コマにおける授業予定	まとめ			

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	総合演習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	180 (6) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	2校舎503教室
担 当 教 員	寶田潤・和歌秀典・山下浩平 ・鈴木次郎・花原容成・竹中美樹	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1年次・2年次までの授業をもとに、課題演習・授業を通し、はり師・きゅう師としての知識の構築ならびに、総合力を身につけていく。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
各科目の教科書・授業資料プリント						
《授業外における学習方法》						
各科目の基本となる知識(重要キーワード・単語)の確認・構築は課題・自習で行い、授業は理解を深めるためのツールとして受講すること						
《履修に当たっての留意点》						
国家資格(免許)の意味をしっかりと思い出し、十分な知識をもった医療人となることを目指してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習を通じての到達目標	医療概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	医療概論について、講義・演習を通して復習を行う。				
第2回	演習を通じての到達目標	医療概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	医療概論について、講義・演習を通して復習を行う。				
第3回	演習を通じての到達目標	医療概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	医療概論について、講義・演習を通して復習を行う。				
第4回	演習を通じての到達目標	医療概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	医療概論について、講義・演習を通して復習を行う。				
第5回	演習を通じての到達目標	医療概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	医療概論について、講義・演習を通して復習を行う。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習を通じての到達目標	公衆衛生学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	公衆衛生学について、講義・演習を通して復習を行う。			
第7回	演習を通じての到達目標	公衆衛生学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	公衆衛生学について、講義・演習を通して復習を行う。			
第8回	演習を通じての到達目標	公衆衛生学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	公衆衛生学について、講義・演習を通して復習を行う。			
第9回	演習を通じての到達目標	公衆衛生学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	公衆衛生学について、講義・演習を通して復習を行う。			
第10回	演習を通じての到達目標	公衆衛生学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	公衆衛生学について、講義・演習を通して復習を行う。			
第11回	演習を通じての到達目標	公衆衛生学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	公衆衛生学について、講義・演習を通して復習を行う。			
第12回	演習を通じての到達目標	公衆衛生学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	公衆衛生学について、講義・演習を通して復習を行う。			
第13回	演習を通じての到達目標	関係法規について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	関係法規について、講義・演習を通して復習を行う。			
第14回	演習を通じての到達目標	関係法規について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	関係法規について、講義・演習を通して復習を行う。			
第15回	演習を通じての到達目標	関係法規について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	関係法規について、講義・演習を通して復習を行う。			

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	総合演習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	180 (6) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	2校舎503教室
担 当 教 員	寶田潤・和歌秀典・山下浩平 ・鈴木次郎・花原容成・竹中美樹	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1年次・2年次までの授業をもとに、課題演習・授業を通し、はり師・きゅう師としての知識の構築ならびに、総合力を身につけていく。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
各科目の教科書・授業資料プリント						
《授業外における学習方法》						
各科目の基本となる知識(重要キーワード・単語)の確認・構築は課題・自習で行い、授業は理解を深めるためのツールとして受講すること						
《履修に当たっての留意点》						
国家資格(免許)の意味をしっかりと思い出し、十分な知識をもった医療人となることを目指してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	演習を通じての到達目標	関係法規について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	関係法規について、講義・演習を通して復習を行う。				
第17回	演習を通じての到達目標	解剖学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	解剖学について、講義・演習を通して復習を行う。				
第18回	演習を通じての到達目標	解剖学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	解剖学について、講義・演習を通して復習を行う。				
第19回	演習を通じての到達目標	解剖学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	解剖学について、講義・演習を通して復習を行う。				
第20回	演習を通じての到達目標	解剖学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	解剖学について、講義・演習を通して復習を行う。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	演習を通じての到達目標	解剖学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	解剖学について、講義・演習を通して復習を行う。			
第22回	演習を通じての到達目標	解剖学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	解剖学について、講義・演習を通して復習を行う。			
第23回	演習を通じての到達目標	解剖学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	解剖学について、講義・演習を通して復習を行う。			
第24回	演習を通じての到達目標	解剖学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	解剖学について、講義・演習を通して復習を行う。			
第25回	演習を通じての到達目標	解剖学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	解剖学について、講義・演習を通して復習を行う。			
第26回	演習を通じての到達目標	解剖学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	解剖学について、講義・演習を通して復習を行う。			
第27回	演習を通じての到達目標	生理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	生理学について、講義・演習を通して復習を行う。			
第28回	演習を通じての到達目標	生理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	生理学について、講義・演習を通して復習を行う。			
第29回	演習を通じての到達目標	生理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	生理学について、講義・演習を通して復習を行う。			
第30回	演習を通じての到達目標	生理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	生理学について、講義・演習を通して復習を行う。			

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	総合演習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	180 (6) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	2校舎503教室
担 当 教 員	寶田潤・和歌秀典・山下浩平 ・鈴木次郎・花原容成・竹中美樹	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1年次・2年次までの授業をもとに、課題演習・授業を通し、はり師・きゅう師としての知識の構築ならびに、総合力を身につけていく。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
各科目の教科書・授業資料プリント						
《授業外における学習方法》						
各科目の基本となる知識(重要キーワード・単語)の確認・構築は課題・自習で行い、授業は理解を深めるためのツールとして受講すること						
《履修に当たっての留意点》						
国家資格(免許)の意味をしっかりと思い出し、十分な知識をもった医療人となることを目指してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第31回	演習を通じての到達目標	生理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	生理学について、講義・演習を通して復習を行う。				
第32回	演習を通じての到達目標	生理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	生理学について、講義・演習を通して復習を行う。				
第33回	演習を通じての到達目標	生理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	生理学について、講義・演習を通して復習を行う。				
第34回	演習を通じての到達目標	生理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	生理学について、講義・演習を通して復習を行う。				
第35回	演習を通じての到達目標	生理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	生理学について、講義・演習を通して復習を行う。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	演習を通じての到達目標	生理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	生理学について、講義・演習を通して復習を行う。			
第37回	演習を通じての到達目標	病理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	病理学について、講義・演習を通して復習を行う。			
第38回	演習を通じての到達目標	病理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	病理学について、講義・演習を通して復習を行う。			
第39回	演習を通じての到達目標	病理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	病理学について、講義・演習を通して復習を行う。			
第40回	演習を通じての到達目標	病理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	病理学について、講義・演習を通して復習を行う。			
第41回	演習を通じての到達目標	病理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	病理学について、講義・演習を通して復習を行う。			
第42回	演習を通じての到達目標	病理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	病理学について、講義・演習を通して復習を行う。			
第43回	演習を通じての到達目標	臨床医学総論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	臨床医学総論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第44回	演習を通じての到達目標	臨床医学総論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	臨床医学総論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第45回	演習を通じての到達目標	臨床医学総論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	臨床医学総論について、講義・演習を通して復習を行う。			

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	総合演習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	180 (6) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	2校舎503教室
担 当 教 員	寶田潤・和歌秀典・山下浩平 ・鈴木次郎・花原容成・竹中美樹	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1年次・2年次までの授業をもとに、課題演習・授業を通し、はり師・きゅう師としての知識の構築ならびに、総合力を身につけていく。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
各科目の教科書・授業資料プリント						
《授業外における学習方法》						
各科目の基本となる知識(重要キーワード・単語)の確認・構築は課題・自習で行い、授業は理解を深めるためのツールとして受講すること						
《履修に当たっての留意点》						
国家資格(免許)の意味をしっかりと思い出し、十分な知識をもった医療人となることを目指してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第46回	演習を通じての到達目標	臨床医学総論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	臨床医学総論について、講義・演習を通して復習を行う。				
第47回	演習を通じての到達目標	臨床医学総論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	臨床医学総論について、講義・演習を通して復習を行う。				
第48回	演習を通じての到達目標	臨床医学総論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	臨床医学総論について、講義・演習を通して復習を行う。				
第49回	演習を通じての到達目標	臨床医学総論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	臨床医学総論について、講義・演習を通して復習を行う。				
第50回	演習を通じての到達目標	臨床医学総論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	臨床医学総論について、講義・演習を通して復習を行う。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第51回	演習を通じての到達目標	臨床医学各論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	臨床医学各論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第52回	演習を通じての到達目標	臨床医学各論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	臨床医学各論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第53回	演習を通じての到達目標	臨床医学各論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	臨床医学各論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第54回	演習を通じての到達目標	臨床医学各論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	臨床医学各論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第55回	演習を通じての到達目標	臨床医学各論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	臨床医学各論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第56回	演習を通じての到達目標	臨床医学各論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	臨床医学各論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第57回	演習を通じての到達目標	臨床医学各論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	臨床医学各論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第58回	演習を通じての到達目標	臨床医学各論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	臨床医学各論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第59回	演習を通じての到達目標	臨床医学各論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	臨床医学各論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第60回	演習を通じての到達目標	臨床医学各論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	臨床医学各論について、講義・演習を通して復習を行う。			

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科目区分	専門分野	授業の方法	実習
科目名	総合演習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	180 (6) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	2校舎503教室
担当教員	寶田潤・和歌秀典・山下浩平 ・鈴木次郎・花原容成・竹中美樹	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1年次・2年次までの授業をもとに、課題演習・授業を通し、はり師・きゅう師としての知識の構築ならびに、総合力を身につけていく。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
各科目の教科書・授業資料プリント						
《授業外における学習方法》						
各科目の基本となる知識(重要キーワード・単語)の確認・構築は課題・自習で行い、授業は理解を深めるためのツールとして受講すること						
《履修に当たっての留意点》						
国家資格(免許)の意味をしっかりと思い出し、十分な知識をもった医療人となることを目指してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第61回	演習を通じての到達目標	リハビリテーション医学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	リハビリテーション医学について、講義・演習を通して復習を行う。				
第62回	演習を通じての到達目標	リハビリテーション医学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	リハビリテーション医学について、講義・演習を通して復習を行う。				
第63回	演習を通じての到達目標	リハビリテーション医学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	リハビリテーション医学について、講義・演習を通して復習を行う。				
第64回	演習を通じての到達目標	リハビリテーション医学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	リハビリテーション医学について、講義・演習を通して復習を行う。				
第65回	演習を通じての到達目標	リハビリテーション医学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	リハビリテーション医学について、講義・演習を通して復習を行う。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第66回	演習実習形式 授業を通じての到達目標	リハビリテーション医学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	リハビリテーション医学について、講義・演習を通して復習を行う。			
第67回	演習実習形式 授業を通じての到達目標	東洋医学概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	東洋医学概論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第68回	演習実習形式 授業を通じての到達目標	東洋医学概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	東洋医学概論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第69回	演習実習形式 授業を通じての到達目標	東洋医学概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	東洋医学概論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第70回	演習実習形式 授業を通じての到達目標	東洋医学概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	東洋医学概論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第71回	演習実習形式 授業を通じての到達目標	東洋医学概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	東洋医学概論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第72回	演習実習形式 授業を通じての到達目標	東洋医学概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	東洋医学概論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第73回	演習実習形式 授業を通じての到達目標	東洋医学概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	東洋医学概論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第74回	演習実習形式 授業を通じての到達目標	東洋医学概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	東洋医学概論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第75回	演習実習形式 授業を通じての到達目標	経絡経穴概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	経絡経穴概論について、講義・演習を通して復習を行う。			

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	総合演習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	180 (6) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	2校舎503教室
担 当 教 員	實田潤・和歌秀典・山下浩平 ・鈴木次郎・花原容成・竹中美樹	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1年次・2年次までの授業をもとに、課題演習・授業を通し、はり師・きゅう師としての知識の構築ならびに、総合力を身につけていく。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
各科目の教科書・授業資料プリント						
《授業外における学習方法》						
各科目の基本となる知識(重要キーワード・単語)の確認・構築は課題・自習で行い、授業は理解を深めるためのツールとして受講すること						
《履修に当たっての留意点》						
国家資格(免許)の意味をしっかりと思い出し、十分な知識をもった医療人となることを目指してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第76回	演習を通じての到達目標	経絡経穴概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	経絡経穴概論について、講義・演習を通して復習を行う。				
第77回	演習を通じての到達目標	経絡経穴概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	経絡経穴概論について、講義・演習を通して復習を行う。				
第78回	演習を通じての到達目標	経絡経穴概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	経絡経穴概論について、講義・演習を通して復習を行う。				
第79回	演習を通じての到達目標	経絡経穴概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	経絡経穴概論について、講義・演習を通して復習を行う。				
第80回	演習を通じての到達目標	経絡経穴概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	経絡経穴概論について、講義・演習を通して復習を行う。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第81回	演習を通じての到達目標	経絡経穴概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	経絡経穴概論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第82回	演習を通じての到達目標	経絡経穴概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	経絡経穴概論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第83回	演習を通じての到達目標	東洋医学臨床論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	東洋医学臨床論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第84回	演習を通じての到達目標	東洋医学臨床論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	東洋医学臨床論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第85回	演習を通じての到達目標	東洋医学臨床論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	東洋医学臨床論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第86回	演習を通じての到達目標	東洋医学臨床論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	東洋医学臨床論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第87回	演習を通じての到達目標	東洋医学臨床論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	東洋医学臨床論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第88回	演習を通じての到達目標	東洋医学臨床論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	東洋医学臨床論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第89回	演習を通じての到達目標	東洋医学臨床論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	東洋医学臨床論について、講義・演習を通して復習を行う。			
第90回	演習を通じての到達目標	東洋医学臨床論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する		プリント、教科書	1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく
	各コマにおける授業予定	東洋医学臨床論について、講義・演習を通して復習を行う。			